

の	そ	自	と		ら	そ	は	こ	う		さ	の	の	マ	ー	し					可
職	れ	分	を	高	な	の	楽	っ	°	私	ぶ	言	一	ラ		て					能
業	だ	の	考	校	か	知	し	つ	。 勉	は	つ	葉	節	ラ		一					性
に	け	得	え	一	っ	識	か	こ	強	時	つ	が	だ	ラ		本					を
就	だ	意	始	年	た	を	っ	と	が	々	と	、	°	・	の	一					広
き	っ	な	め	生	か	ど	た	努	嫌	考	力	°		ユ	当	人					げ
たい	た	こ	な	に	ら	う	°	す	い	え	す	た	時	サ	16	の					る
か	°	と	く	な	だ	や	た	の	だ	°	る	だ	歳	フ	の	彼					
°	ど	を	て	っ	と	っ	だ	が	っ	な	の	歳	の	ザ	女	世					
そ	の	活	は	た	思	た	、	好	た	ぜ	が	の	の	い	が	界					
の	学	か	い	あ	う	ら	知	き	わ	勉	世	私	彼	さん	が	を					
時	部	せ	け	る	°	活	識	で	け	強	界	の	女	の	が	変					
の	に	る	く	仕		か	は	、	じ	し	に	の	の	の	え						
私	行	事	な	事		せ	増	勉	ゃ	て	世	考	国	の	こ						
に	き	に	っ	就		え	強	な	い	界	え	連	ス	と							
は	たい	就	た	きた		の	て	す	い	°	を	で	の	が							
、	か	きた	°	たい		か	い	る	る	む	大	の	スピ	出							
こ	、	たい	何	いか		分	°	の	ろ	し	き	ー	ー	来							
の	ど	い	か	か		か	けど	の	、	ろ	く	チ	ち	る							

梶谷 莉花

教科が得意だから、という判断材料しかなか  
った。知っている職業は、医者、弁護士、公  
務員などのメジャーなものばかり。まだまだ  
社会を知らない中で、選択肢の幅を狭めてし  
まうのは嫌だった。もつと社会のことを知り  
たい。何の目的もないまま勉強したくない。  
そう思っていた矢先、あるプログラムがあ  
ることを耳にする。それが私の通う高校のキ  
ャリア教育プログラム、V G (Vocational Guidance)  
だ。自分たちで社会や職業について考え、プ  
ログラムを運営、企画する。チャレンジした  
い！迷うことなくすぐに参加を決意した。や  
ってみたい企画はあるか、と先生に言われ、  
出されたのが職業体験、講義、この2案だっ  
た。私は、受け身にならず自分達でなにか取  
り組めることがしたいと思い、シユミレーシ  
ョンをする、という案を出してみた。それか  
ら、グループに分かれて、2週間後に控えた  
プレゼンテーションに向けての準備の日々が  
続いた。何回も話し合いを重ねた結果、私の

「学ぶことの意義を見つけられる一つの手が持つことで、Gの参加者が企画の意図を理解して主体性を、成長の糧にしたい。自分だけでなく、V標にした。また、違う視点の意見をもらって、自分には足りていない部分を見つけ、目こそ、企画を進めていく中で、社会人に会って、自分には足りていない部分を見つけ、目会人と交流する機会ほとんどない。だからして関わっていくつもりだ。普段高校生が社会人と交流する機会ほとんどない。だからこ、企画を進めていく中で、社会人に会って、自分には足りていない部分を見つけ、目きた。これからはV Gに企業とやりとりする側とみなで初めて知ることができたことは多かつたし、私達の案は通らなかったが、企画を考える中で初めて知ることができたことは多かつたし、会に必要な人材と教育」というテーマだったのは、他のグループが考えた「これからの社最終的に、プレゼンテーションで決定したテーマにした。て、商品企画と広報の現場を体験する」をテグループでは、「企業とコラボレーションし

、。

かりになった」  
と言ってくれる企画を目指す。  
最近、英語の授業でマララさんについて学  
んだ。パキスタンには今も多く女性が十分  
な教育を受けることができないそうだ。彼女  
が言った  
「教育は世界を変えられる。」  
に つ い て どう 思 う か 議 論 し た 。 私 は 今 ま で 教  
育 を 受 け ら れ る の は 当 たり 前 に 感 じ て い た 。  
パキスタンの状況から、私たちが教育を受け  
られなかったらどうなっていたか想像するこ  
とができた。教育を受けることによって、医  
師になつてたくさんの人々の命が救えたり、今  
社会がどうなっているのかをもっと知ること  
ができたりする。彼女たちが教育を望む姿を  
見て、自分が恥ずかしくなった。教育を受け  
られて、自分のなりたいたいものになれるに  
なぜ私は勉強しなければならぬと思ってい  
たのか。勉強をすればということは夢を叶えら  
れるし、世界平和につながる素晴らしいツ

ルだった。  
私はまだ将来何がしたいか考える時間がた  
くさんある。だから、挑戦したいと思っただ全  
てのことに取り組んでみたい。今はV Gのほ  
かに、修学旅行の副責任者を務めている。自  
分達で一から決めていくから大変だが、達成  
感がある。自分達で何か創り上げていく楽し  
さに気付いた。残りの高校生活。教育を受け  
たい！社会のために働きたい！ただその一心  
で頑張っていていきたい。きっと今頑張ったこと  
が自分の将来の可能性を広げていると信じて